

○世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策 制度の拡充について

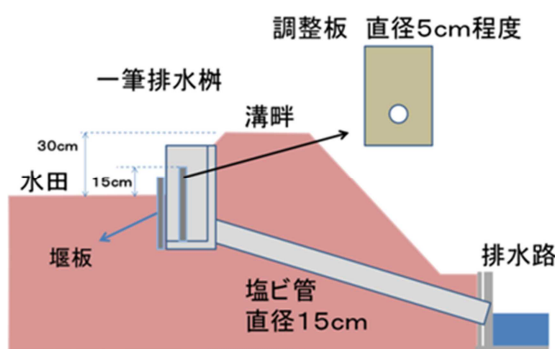
1. 資源向上支払（共同）において、防災減災型を追加

1) 拡充内容

近年、想定を超える豪雨災害が頻発しており、県民の治水に関する関心と不安が高まっている。このため、降雨を水田で一時的に貯留し、河川への流出を抑制する水田の「ためる」機能を高める取組に対する支援を追加する。

○ 防災減災型（田んぼダム）とは？

防災減災型（田んぼダム）とは、排水口を小さくして流出量を抑制することで、田んぼの多面的機能の一つである「水を貯める機能」を利用して、大雨時などに一時的に雨水を水田に貯留し下流地域を湛水被害から守る取り組みです。



提供：新潟県見附市

2) 交付単価

	農地維持支払	資源向上支払 (共同活動)			資源向上支払 (施設の長寿命 命化)
		標準型	環境保全型	防災減災型	
田	2,200	1,300	1,800	1,800	4,400
畑	1,500	800	1,080	800	2,000
草地	180	120	180	120	400

3) 取組内容

① 計画策定

- ・「水田貯留機能増進計画書」を作成すること。

② 啓発普及

- ・関係者間で取組ルールを決めるとともに啓発活動を行うこと。

③ 実践活動

- ・水田の一筆落水口に排水調整板を設置し、大雨時の水田からの排水を低減すること。
- ・排水路溝畔断面を標準（天端幅 30～50cm、高さ 30cm）以上確保すること。
- ・対象水田面積の 8 割以上の面積で取り組むこと。

